



タイヤ産業世界 CEO 会議開催について

10月11日に日本・京都で、日本、欧州、米国、韓国を代表するタイヤメーカーのCEOが一堂に会し、第5回目のタイヤ産業世界CEO会議を開催致しました。これを受け、共同のリリースを纏めましたので、添付資料にてお知らせ致します。

参加企業

- ・株式会社ブリヂストン
- ・コンチネンタルAG
- ・クーパー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ・ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ・ハンコックタイヤ
- ・クムホタイヤ
- ・ミシュラングループ
- ・ピレリ
- ・住友ゴム工業株式会社
- ・東洋ゴム工業株式会社
- ・横浜ゴム株式会社

(アルファベット順)

日本からは、ブリヂストン 津谷CEO、住友ゴム工業 池田社長、横浜ゴム 野地社長、東洋ゴム工業 信木社長 が出席しました。

添付資料 (計4枚)

1. プレスリリース
2. CEO写真 (出席者氏名)

本件に関するお問合せ先

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 総務部(広報・渉外担当) 木下・大高

電話 03-3435-9092 FAX 03-3435-9097

2013 年 10 月 16 日

タイヤ産業 世界 CEO 会議 プレスリリース

WBCSD, ETRMA, KOTMA, JATMA, RMA

2013 年 10 月 11 日 タイヤ産業世界 CEO 会議を京都で開催

2013 年 10 月 11 日、京都にてタイヤ産業世界 CEO 会議が開催され、欧州、日本、韓国及び米国を代表するタイヤメーカーの CEO が一堂に会し、タイヤが環境と健康へ与える影響に関する調査を行っている長期プロジェクトの進展内容を確認し、プロジェクトを継続することを承認しました。

このプロジェクトは 2005 年に始動し、スイス・ジュネーブに本部を置く World Business Council for Sustainable Development (WBCSD = 「持続可能な発展のための世界経済人会議」) の下で行われています。WBCSD は、世界のビジネス界と共に重要な環境や社会問題についての取組みや提言を行っている国際的な非営利団体です。

前回 2011 年に開催された世界 CEO 会議から 2 年間に亘り、プロジェクトでは車両走行時に発生するタイヤ摩耗粉及び道路上の粉塵が環境・健康へ与える影響とタイヤの材料として使用されるナノマテリアルが健康へ与える影響を調査し、また廃タイヤの効果的な管理システムの展開活動など、タイヤに関する環境課題への取組みを行ってきました。

タイヤ摩耗粉及び道路上の粉塵(tire and road wear particles = TRWP)については、2006 年から 2011 年に行われた TRWP の生態系への影響調査に引き続き、TRWP に含まれる化学物質の環境への影響を調査しました。その結果、これらは環境や健康に対するリスクは低いことが判明しました。尚、調査結果は科学会議や学術専門誌で発表する予定です。

ナノマテリアルについては、タイヤ製造工程におけるカーボンブラック及び非晶質シリカの濃度を測定した結果、作業員への影響は極めて低いことが判りました。また、ナノマテリアルの適切な取扱い方法に関するベストプラクティスをまとめたガイドを、フランス・パリに本部を置く経済協力開発機構(OECD)と協働して作成し、来年早々に発行する予定です。OECD は、将来動向の予測や国際標準の制定を行っている国際機関です。

廃タイヤ管理については、これまでに廃タイヤ管理の現状を紹介するレポートや廃タイヤ管理システムの構築を目指した廃タイヤ管理マニュアルを発行してきました。CEO の

承認を得て 2010 年に発行された廃タイヤ管理マニュアルは、管理方法が既に構築されている国や地域の経験をもとに作成され、プロジェクトに参加しているタイヤメーカー各社やタイヤ業界団体を通じて配布されています。またプロジェクトでは、効果的な廃タイヤ管理システムを他地域に展開する活動も行っています。

このプロジェクトでは、タイヤ産業に関わる課題に早期から取り組み、タイヤが環境や健康へ与える影響をより深く理解し、タイヤ産業を持続可能な産業にするための方向性を策定しています。参加企業は次の通りです：株式会社ブリヂストン、コンチネンタル AG、クーパー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー、ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー、ハンコックタイヤ、クムホタイヤ、ミシュラングループ、ピレリ、住友ゴム工業株式会社、東洋ゴム工業株式会社、横浜ゴム株式会社。現在、ブリヂストン、グッドイヤー、ミシュランが、グループの共同リーダーを務めています。また、本会議には、欧州、日本、韓国及び米国のタイヤの業界団体の代表者も出席しました。

尚、このプロジェクトの進捗内容については、定期的に WBCSD によって選ばれたアシュアランス・グループという第三者の有識者からなるグループにより、客観的な視点で審議を受けています。アシュアランス・グループには、米国 ハーバード大学公衆衛生大学院のジョン・スペングラー博士(米国)、東京大学政策ビジョン研究センターの谷口武俊博士(日本)、世界資源研究所のライライ・リ博士(中国)、国立産業環境・リスク研究所 慢性リスク部のエメリック・フレジャフォン博士(フランス)、ヨハネス・ゲーテンベルク大学マインツ 医療バイオメトリックス・疫学・情報科学研究所のマリア・ブレットナー博士(ドイツ)が参加しています。

以上



2013 年 CEO 会議 写真

前列 (左から)

1	Jones Day	Mr. Hiromitsu Miyakawa*
	ジョーンズ・デイ 法律事務所	宮川 裕光 氏
2	Bridgestone Corporation	Mr. Masaaki Tsuya
	株式会社ブリヂストン	津谷 正明 氏
3	WBCSD	Mr. Peter Bakker**
	WBCSD	ピーター・バックー 氏
4	Group Michelin	Mr. Jean-Dominique Senard
	ミシュラングループ	ジャン＝ドミニク・スナール 氏
5	The Goodyear Tire & Rubber Company	Mr. Richard J. Kramer
	ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラ バー・カンパニー	リチャード・J・クレーマー 氏

*CEO 会議に同席した弁護士

**WBCSD 事務総長

後列 (左から)

1	Continental AG	Mr. Nikolai Setzer
	コンチネンタル AG	ニコライ・ゼッツァー 氏
2	Hankook Tire Company	Mr. Seung Hwa Suh
	ハンコックタイヤ	ソ・スンファ 氏
3	Kumho Tire Company Inc.	Mr. Chang-Kyu Kim
	クムホタイヤ	キム・チャンギョ氏
4	Sumitomo Rubber Industries, Ltd.	Mr. Ikuji Ikeda
	住友ゴム工業株式会社	池田 育嗣 氏
5	Toyo Tire & Rubber Company, Ltd.	Mr. Akira Nobuki
	東洋ゴム工業株式会社	信木 明 氏
6	The Yokohama Rubber Company, Ltd.	Mr. Hikomitsu Noji
	横浜ゴム株式会社	野地 彦旬 氏